



上北沢桜並木通信 第 17 号



上北沢の桜並木がNHK総合TVで放送されました - 3月11日(水) -

NHK総合TV『タどきネット』に出演しました。

●放送日：3月11日(水) 16:50~18:00

[テーマが桜の時間は 17:05 から7分程度]

桜のテーマは、「どうなるお花見、温暖化でピンチ」

●内 容：

- ・青森県弘前公園では、5月の連休にあわせて満開になると観光客が多く集まるが、地球温暖化によって開花が早まると大打撃であるというテーマ。
- ・上北沢桜並木は、キノコが発生して桜が枯れてしまう恐れがあること。ともに、桜自体が弱ってきている。
- ・立川市の昭和記念公園では、夏場日照りが続いたりすると木にストレスがたまり、病原菌に対抗できなくなり、桜木の腐朽が進んでいる。[取材は3月5日(木)7時半頃から約2時間でした]



←取材中



←放送中

東京新聞に上北沢桜並木の写真が掲載されました - 2月25日(水) -

2月25日(水) 東京新聞に上北沢桜並木の写真が大きく掲載されました。

記事は、世田谷区が桜並木の健康診断を行い、手当が必要なら治療し、腐食した木は植え替えていくことを決め、上北沢の桜並木は成城、千歳通りとともに09年度に実施するというものです。

(詳細はHP：<http://www.sakuranamiki.org/>をご覧ください)



桜並木会議からのお知らせ



桜まつり

《桜まつりに展示・ショップを出します》

『桜まつり』が4月4日(土)・5日(日)に行われます。

展 示：桜&桜並木の現状報告、上北沢駅周辺の話、上北沢プレイマップなど

ショップ：“和”をテーマに手作り『和手ぬぐい』・『ふきん』、桜&桜並木の絵葉書、ゴルフなど



年次総会

年次総会を以下の要領で開催しますので、会員の方のご出席をお願いいたします。

日 時：平成21年5月2日(土) 14:00~16:00

場 所：上北沢区民センター 第1・2会議室 (上北沢 3-8-9 TEL: 3290-3701)

議 事：・平成20年度決算報告 ・平成21年度事業計画
・会則の変更 ・役員改選 ・その他



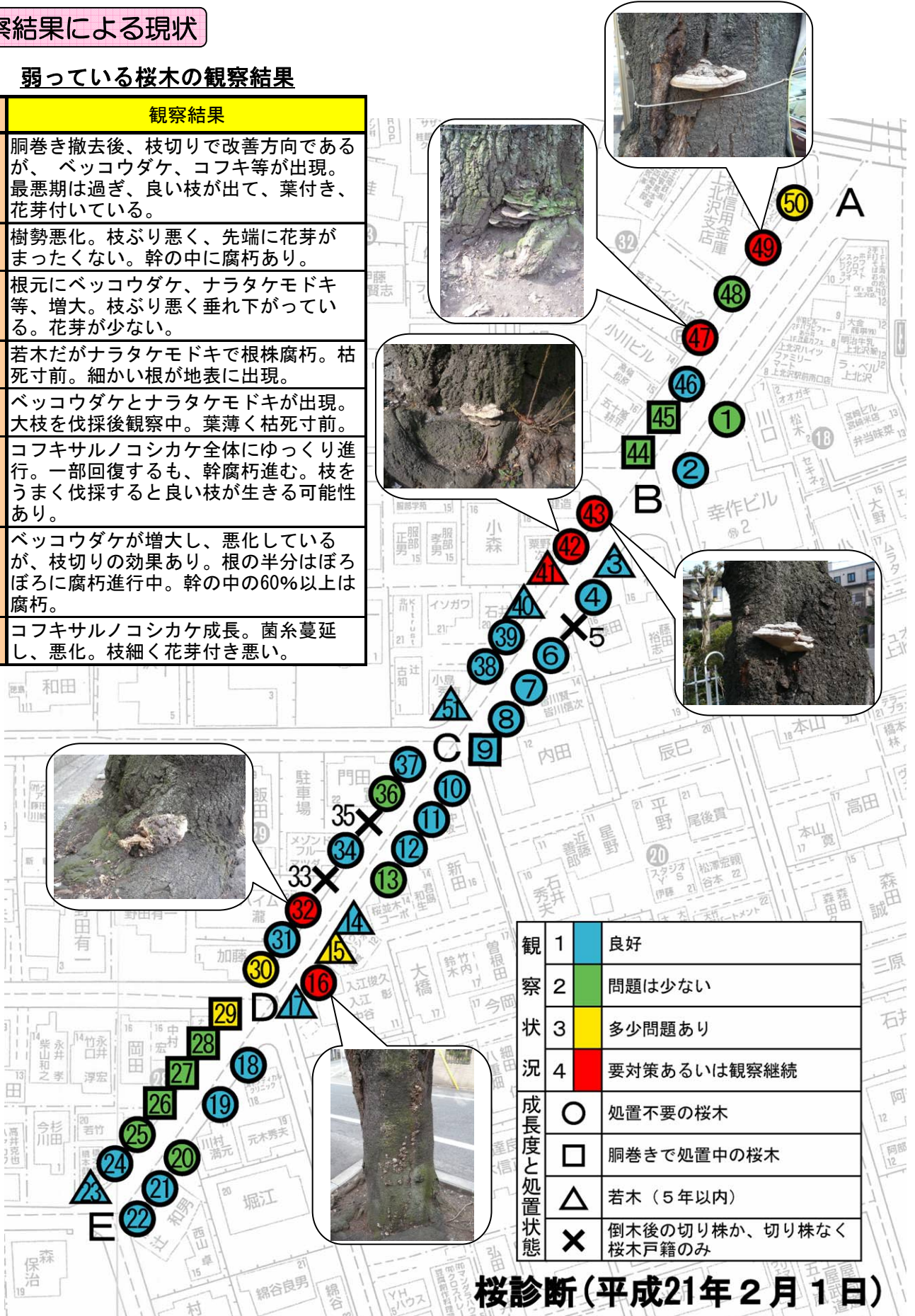
桜並木の状況 - 花芽観察会 2月1日(日) -



観察結果による現状

弱っている桜木の観察結果

No.	観察結果
16	胴巻き撤去後、枝切りで改善方向であるが、ベッコウダケ、コフキ等が出現。最悪期は過ぎ、良い枝が出て、葉付き、花芽付いている。
30	樹勢悪化。枝ぶり悪く、先端に花芽がまったくない。幹の中に腐朽あり。
32	根元にベッコウダケ、ナラタケモドキ等、増大。枝ぶり悪く垂れ下がっている。花芽が少ない。
41	若木だがナラタケモドキで根株腐朽。枯死寸前。細かい根が地表に出現。
42	ベッコウダケとナラタケモドキが出現。大枝を伐採後観察中。葉薄く枯死寸前。
43	コフキサルノコシカケ全体にゆっくり進行。一部回復するも、幹腐朽進む。枝をうまく伐採すると良い枝が生きる可能性あり。
47	ベッコウダケが増大し、悪化しているが、枝切りの効果あり。根の半分はぼろぼろに腐朽進行中。幹の中の60%以上は腐朽。
49	コフキサルノコシカケ成長。菌糸蔓延し、悪化。枝細く花芽付き悪い。



観 察 状 況	1	良好
	2	問題は少ない
	3	多少問題あり
	4	要対策あるいは観察継続
成 長 長 度 と 処 置 状 態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木（5年以内）
	×	倒木後の切り株か、切り株なく桜木戸籍のみ

桜診断(平成21年2月1日)




花芽観察会報告



2009年2月1日（日）花芽観察会とセミナーが行われました。

桜再生と言う観点から見ると、この数年の活動で再生の方向に向かっているものの、全体的には桜並木は弱っています。

桜木を弱らせる要因と解説

要因	解説
老化 	<p>80年以上経過した桜木が住宅地の中で生き延びていくこと自体大変なことです（No.25は80年以上の古木です）。</p> <p>上北沢の桜並木の古木は、石井樹木医によると、地域の様々な周りの環境によって守られたと言っています。</p> <p>近年桜並木に来る鳥や昆虫が少なくなっていることで、毛虫など害虫が増えていることに現れています。</p> <p>ソメイヨシノは園芸種なので、人間の手間をかければかけるだけ応えてくれます。例えば、胴巻きによって生まれた不定根によって、幹の途中から根を出し、これが、幹の内側に伸びたり地表に届くことによって、やがて大きな幹となって、世代が交代していきます。</p> <p>弱った枝の枝切りや胴吹き、ひこばえの伐採によって、新たな強い枝が出ます。</p>
キノコ （ナラタケモドキ・ベッコウダケ） 	<p>この被害は食い止める手立てはいまのところありません。</p> <p>ベッコウダケは進行が遅く、伝染力も遅いものの、ナラタケモドキは、地中から桜の根を侵す「根株腐朽菌」を持っています。</p> <p>これに汚染された土壌は入れ替えるしかありません。</p> <p>No.5は現在枯死しています。No.40、41、42は枯死した経歴を持っています。</p> <p>若木でも数年立つと根株にナラタケ菌が蔓延することがあります。</p> <p>今後更に隣へと伝播していく可能性が大きいと思われます。</p>
害虫 （コスカシバ・モンククロシャチホコ） 	<p>コスカシバやモンククロシャチホコが何故発生するかは、分からない点が多く、気候変動や周りの鳥が住むみどりの環境にも多く影響すると考えられます。</p> <p>みどりは減る一方なので、当面、区にお願いして、薬剤散布で切り抜けます。しかし、薬剤は撒きすぎれば人体への影響や鳥への影響もあり、散布の方法やどのエリアに撒くかは、試行錯誤しながら行います。</p>
車（排気ガス・桜木への衝突）	<p>桜は樹皮でも呼吸しているので、排気ガスなどに弱く木々を傷めているということだけをこの紙面ではお伝えいたします。</p>
樹間距離 	<p>木と木のあいだが狭いという問題です。</p> <p>以前若木であった頃は、樹間距離が比較的狭く植えていました。現在幹も大きくなって、少なくとも10mの樹間距離が必要です。</p> <p>たくさんの太陽と根の張るスペースが必要なのです。桜は、もともと街路樹には適していないと言われる理由の一つです。</p> <p>今後樹間距離を守るには、枯れたらその場所の樹間距離を考えて、代替りの桜木を植えていく必要があります。</p> <p>No.33とNo.35に桜を植えないのはそのためです。</p>

桜並木の維持管理の特効薬はありません。何といたっても桜並木を守るのは日常桜並木を通る人々の気持ちと汗に頼るしかありません。

桜は、元気なときには元気な姿を、弱ったときは多くのシグナルを発信します。このシグナルを読み取れなくなったとき桜並木はなくなります。

ソメイヨシノ/接木作業を行いました - 3月5日(木) -



日 時：3月5日(木) 午後1:00より

場 所：小金井公園後継樹育成苗圃

参 加 者：小金井公園桜守の会 伊藤正義 他数名、
日本花の会多摩支部 中原修 他1名
上北沢桜並木会議 佐藤信二郎・青木俊江、
東京農工大名誉教授 相場芳憲

目 的：上北沢桜並木では、キノコや老齢化によって毎年1~2本のソメイヨシノが枯れている。

今後更に、水道工事によって大量のソメイヨシノが、枯れる可能性もある。

このような状況に対応して、80~60年の古木から穂木を採取し、接木を行って、ソメイヨシノの子孫を残していく。

作業内容：小金井公園桜守の会で用意していただいている実生から育てた台木(オオシマザクラ)に、上北沢桜並木から採取(主にひこばえから)した穂木13本の接木を行った。



2009年 上北沢桜並木 保全支援 年間計画



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
桜の成長と上北沢地域のイベント	一冬芽観測時期→		桜開花	桜祭り	若葉成長 コスカシバ発生	深緑			コスカシバ発生	キノコの最盛期	文化祭	落ち葉清掃
実態調査		2/1 花芽観察+セミナー	一覧表作成のための調査						9/20 調査実施			
花びら・がく/落葉、清掃				花卉、葉(しべ)清掃 区ホウキ貸与							落ち葉清掃	
植え替え木の選定とランク分け			3/20 No.28 不定根パイプの撤去									
花芽 観察		3/20から花芽観察実施と観察記録										
倒木処理 植え替え 胴吹き・ひこばえ剪定			咲始	満開	散始					台風シーズン前の枝き		*植え替えNo.5/植栽
コスカシバ/モンクロシャチホコ 害虫駆除、対策		世田谷区毛虫害虫対策 ①2/23 フェロモン薬剤管(スカシバコン)設置 ②5月世田谷区一斉薬剤散布				コスカシバ・ヤニ 測定と駆除		世田谷区モンクロシャチホコ 9月一斉薬剤散布				
キノコ観察と対策								キノコの発生/対策と成長を観測 (専門家による調査)				
桜並木の水道管工事					工事対策研究			調整・打合せ				工事実施
								試験堀				

上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にする心を種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。毎週日曜日に行う日曜ミーティングと、鳥山総合支所からもご出席いただいている月1回の月例会における話し合いをもとに活動しております。

お問い合わせ： info@sakuranamiki.org

連絡先：和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660

- 桜並木会議では、会員の数を増やし、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。桜並木会議が行う行事・日曜ミーティング(月の第1・3日曜10~12 区民センター)等に、是非ご参加下さい。
- 桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。
- 桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。

桜の木はしっかりサバイバルしています！

上北沢桜並木会議



先日(3/11)のNHKの夕ときネットワークでは折角上北沢が紹介されましたが、編集時間の都合からでしょうか私達の日頃言っている(1)桜の木が老朽化して様々の障害に悩んでいる(2)しかし住民・行政の尽力と桜の木自身の生存本能・再生力で桜の木はしっかりと復元し生き延びようとしている、の(1)だけが強調され後段の(2)が割愛されたのがくれぐれも残念でした。たしかに一見すれば桜の木の幹はいずれも屈曲し複雑な形状です。でもこれは病気ではありません！幹の内部が茸や害虫に侵され空洞化しても、幹の周囲から毛髪のような細い根(不定根)を生やしそれらを地上まで伸ばし、更に太く育てて幹と合体させて新しい幹を外側から形成している結果なのです。これが80何歳になっても尚成長している植物の驚くべき生命力なのです。勿論それでも耐え切れずに伐採・植え替えせざるを得ない木も出てきます。しかし折角年月を共にしてきた並木の木です。なるべく長く生き永らえて欲しいと思います。どうか暖かい目で桜並木の木たちを見守ってください。不況の中でも人間達しっかりと訴えている桜たちの声に耳を傾けてください。

